

英語・国語* 出題意図

問題構成

- I 英語（社会哲学）
- II 英語（文学）
- III 国語（論説）

出題意図

大問 I～III はすべて長文読解です。大問 I・II は英語，大問 III は日本語による文章ですが，それぞれ英語と日本語を関連づけながら思考し，解答することが求められます。問題は高校までの学習内容を前提とし，段落ごとの主旨を汲み取りながら論理的に読む力，文章全体を把握する力を測ることが意図されています。そのため，本文を部分的にのみ読むことで解答できるものは極力避けられています。

マークセンス方式の問題では，文章全体の主旨の理解と論理的思考が求められます。記述式の問題では，英語と日本語の基礎的な語彙・漢字・慣用表現を身につけていることが期待されています。

学習アドバイス

英語・国語ともに，高校までの学習内容をよく理解することが前提です。特に，英語であれば基本的な語彙やイディオム，国語であれば漢字や慣用句をよく確認しておくことが必要です。さらに，長文を正確に読むためには，普段から幅広い分野の文章に触れておくべきです。文章全体を理解することで正答を導き出せる問が多いため，長文に慣れ親しんでおくことはもちろん，いわゆる受験テクニックではなく，広い教養を身につける姿勢で学習するとよいでしょう。

*経済学部の 3 教科型学部個別入試 A 方式の「英語・国語」は，2026 年度入試では「英語」と「国語」に分かれます。